

陸前高田から考える

お茶大が報告書発行

お茶の水女子大学
(東京都文京区) 文教
育学部グローバル文化
学環の学生と教員らが

を受け、一昨年には「震
災経験の聞き書き集」
も発行している。

今回は2014年度
の地域研究報告として
『震災の記憶を語り継
ぎ、今、陸前高田から
考える』と題し一冊に
まとめた。中には、昨
年同大で実施されたフ
ォーラムで講演した實
践者たちの、ハード
面の整備や自宅再建と
いった物理的な復興が
進む中で、移転後のコ
ミュニティーなど、新
たな問題が生まれてき
ていることを度重なる
訪問により実感。

好義正さん(同市観光
物産協会副会長)の講
演記録や、防災士・佐
藤一男さん、市民交流
プラザの阿部裕美さん
と、陸前高田市民の寄
稿も含まれる。

また、あくまで自分
たちは「外部の人間で
ある」という立場に立
てている。

つたうえで、住民たち
と真摯(しんし)に向
き合い、陸前高田につ
いて伝えていけるので
はないかと結論。同市
とかかわりを持ち続け
ながら、自分たちに何
ができるのかを考えると
共に、防災を自分ごと
としてとらえる取り
組みについても報告し
ている。

学生たちは、ハード
面の整備や自宅再建と
いった物理的な復興が
進む中で、移転後のコ
ミュニティーなど、新
たな問題が生まれてき
ていることを度重なる
訪問により実感。

また、あくまで自分
たちは「外部の人間で
ある」という立場に立
てている。

2014年度 陸前高田市
『地域研究報告集』
『地域調査方法と実践』
報告書



震災の記憶を語り継ぎ、
今、陸前高田から考える

Vol. 4



お茶の水女子大学
文教育学部 グローバル文化学環

陸前高田へ継続して訪れているお茶の水女子大の学生らが
まとめた報告書